

■ **桜田 一郎** 日本の高分子化学基礎築き国際水準にし、合成繊維ビニロンを発明。工業化学分野で初の文化勲章。

さくらだいちろう

日露戦争始・1904 = 京都市で、桜田文吾の長男に生まれる。

日露戦争終・1905 = 1歳：

明治天皇没・1912 = 8歳：

大正政変・・1913 = 9歳：

原敬首相暗殺1921 = 17歳：

水平社結成・1922 = 18歳：

関東大震災・1923 = 19歳： 京都帝国大学工学部工業化学科に入学。
喜多源逸の指導のもとにセルロース化学へ進む。

円本時代始・1926 = 22歳： 卒業して、理化学研究所の研究員となり、

共産党事件・1928 = 24歳： ドイツに留学。

ときあたかも高分子化学誕生のときにあたり、ライプツヒ大学のW・オストワルトにコロイド化学を学び、次にベルリンのカイザー=ウィルヘルム研究所のK・ヘスに学んだ。

満州事変・・1931 = 27歳： *帰国し、工学博士。研究報告は、この年の醋酸繊維素の研究をはじめとして、約8百編余に及び、いずれも独創的研究を展開。物性研究面で高分子溶液の粘度と分子量の関係式(マーク=ハウインクー=桜田の式)を誘導、現在も使われている。高分子化合物のX線研究、放射性高分子化学の領域を開拓、

芥川直木賞始1935 = 31歳： 京都帝大教授。

日中戦争始・1937 = 33歳：

健保+総動員 1938 = 34歳： アメリカのデュボン社よりカロザースのナイロンが発表された翌年、

第二次大戦始1939 = 35歳： *李升基・川上博らと、日本最初の合成繊維、耐水性ポリビニルアルコール繊維「合成一号」を発表。

大政翼賛会・1940 = 36歳：

日米開戦・・1941 = 37歳： 工学部に繊維工学科を創設。

敗戦・・・・1945 = 41歳：

三大事件・・1949 = 45歳： 倉敷レイヨン(クラレ)から「ビニロン」の名で製造を開始、合成繊維の時代を拓き、

独立回復・・1951 = 47歳： *第1回日本化学会化学技術賞を受賞。「高分子」の邦語を提案し、高分子学会を創立する。

55年体制始・1955 = 51歳： 学士院賞、

国連加盟・・1956 = 52歳： 日本放射線高分子研究協会(のち日本原子力研究所)の設立に参画。

イスタンブール・1958 = 54歳：

安保闘争・・1960 = 56歳：

大学紛争始・1965 = 61歳： 工学部長となり、

美濃部都知事1967 = 63歳： *退官後、京都大学名誉教授、同志社大学工学部教授、日本原子力研究所大阪研究所所長。

石油ショック1973 = 69歳：

田中角栄逮捕1976 = 72歳：

JALハイジャック・1977 = 73歳： 工業化学分野では初の文化勲章を受章して、

中曽根内閣・1982 = 78歳：

ジャンボ機墜落1985 = 81歳：

バブル始・・1986 = 82歳： 没した。

「目でみる日本人物百科」、